

平成 23 年 3 月 10 日

## 「秋田大学海外派遣支援事業」留学状況報告

所属：教育文化学部 国際言語文化課程 日本・アジア文化選修 3年

氏名：阿部 ななか

制度：留学生交流支援制度(短期派遣)

派遣先大学：国立ハンバット大学(大韓民国)

在籍身分：交換留学生

派遣期間：平成 22 年 3 月～平成 23 年 2 月

渡航年月日：平成 22 年 2 月 22 日

帰国年月日：平成 23 年 2 月 14 日

### 1. 研究・学習及び今後の勉学計画

ハンバット大学の国際交流院で行われる韓国語の講義を主に受けました。講義はもちろん全て韓国語で行われました。最初は少し戸惑いましたが、予習・復習を欠かさずに行えばちゃんと授業についていくことができました。特に、週に 2 回あった「集中韓国語」の講義では、1 つの単元の中で毎回新しい単語や文法がどんどん出てくるので予習が大変でしたが、語彙がかなり増えました。また、韓国の文化や韓国で今社会的に問題になっていることが中心に取り上げられていて、とても勉強になりました。毎日のように課題が出され、文法や単語などの課題だけでなく、レポートの課題も多く出されました。留学する前は韓国語でレポートを書くという機会があまり無かったので、韓国語で長文を書くということに全く慣れていませんでした。最初はこんなに書けるわけがないと思いましたが、先生に文章の組み立て方を教わり、課題を何度もこなすうちに韓国語で文章を書く力がかなりつきました。

このように、韓国語の語彙や文法、文章力は授業のおかげで大分伸びましたが、今韓国で暮らす韓国人の日常会話は友達から多く学んだように思います。留学当初、いざ現地に行き、自分が日本で勉強した韓国語を使って韓国の人と会話をするのは、なかなか難しかったです。教科書などには載っていない、会話だけで使う表現が思っていた以上にたくさんあったからです。それから、積極的に友達を誘って一緒に遊んだり、勉強したりして、とにかくたくさん会話をするように努力しました。以前留学していた先輩に「友達に誘われたら出来るだけ断らない。」と言われたとおり、友達に誘われたら断らないようにし、たくさん友達を作りました。また、分からないことがあったら「分からなくて当たり前。」と割り切り、素直に友達や先生に聞くようにしました。その結果、留学して半年後には聞き取りがかなり伸びました。韓国のドラマを字幕なしでも理解できるようになったときには本当に感動しました。そして留学中に韓国語能力試験4級を取得し、今では日常生活ではほとんど問題なく会話できるようになりました。留学した当初には想像できないくらい成長し、自信がつけました。留学中は、相手が何も言わなくても分かってくれるということはあまり無く、言わなければ伝わらないので自分の考えがどうやったら相手に伝わるかと考える機会が多くありました。言葉だけでなくコミュニケーションそのものの仕方を学びました。また、韓国の友達と文化が違ってもお互いを理解し、とても近くなれたことに感動を覚えました。そして、そんな友達を得たことを誇りに思います。

この 1 年の留学を通して、言語だけでなく本当に多くのことを学び、なかなか出来ない貴重な体験をしました。たったの 1 年で、と思われるかもしれませんがこの 1 年で確実に物事を色々な面から見られるようになったと思います。今後、できたら他の国にも行き、そこの人々がどんな視線で生活しているのか見てみたいです。そして、学んだことを積極的に仕事や自分の成長のために活かしていけたらいいなと思います。最後になりましたが、今回このような素晴らしい経験をさせてくれた

全ての方に、そして韓国で出会った全ての方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

